

臼田地区新小学校の建設候補地の選定について

検討委員会では、臼田地区新小学校の建設候補地として、「コスモホールの西側」を選定しました。その理由等は、以下のとおりです。

記

1 経過

平成27年1月21日、佐久市教育委員会で学校規模について既存の4小学校を1校に統合を決定したことから、平成27年3月に開催された第6回検討委員会から小学校の建設候補地に関する議論を進めてきました。

建設候補地は、第7回検討委員会までに、既存小学校の建て替え3箇所(田口小学校は国の史跡内にあり不可)、新たな土地に建設する候補地8箇所の計11箇所が挙げられ、以後、絞り込みに関する議論を進めました。

検討委員会では候補地の選定にあたって、新しい小学校の学校像が重要になるという考えから、既存4小学校が掲げるランドデザインを基に、4校を1校に統合する際に示した検討委員会の基本的な考え方、佐久市教育委員会の施設整備方針を含めて「臼田地区新小学校が目指す学校の姿」を決定しました。そこから導かれる「安全性」、「環境」、「まちづくり・地域づくり」、「通学」、「経済性・工事の円滑性」を建設候補地選定の5つの観点として、各候補地のメリット・課題などの議論を重ねました。

そして、議論の結果、平成27年9月、候補地を11箇所から4箇所に絞り込み、10月には4候補地の現地確認を実施しました。

また、建設候補地が4箇所に絞り込まれたことから、平成27年11月には、全市民を対象にしたパブリックコメントに併せて、臼田4地区の住民説明会と、各小学校、保育園等の保護者を対象とした説明会を実施し、延べ540人の出席をいただき、各候補地の状況等について説明し、参加者との意見交換を行いました。こうした過程を経て、建設候補地選定に関する議論が深まってきたことから、いよいよ建設候補地を4箇所から1箇所に絞り込むため、平成28年1月には、説明会等が出された意見も踏まえ、各委員が候補地ごとに5つの観点について評価(◎○△)を行い、評価に関する考え方について意見交換をしました。意見交換は、議論が一層活発に行われるように、3つのグループに分かれて実施しました。

続いて、平成28年2月には、第14回検討委員会において、グループ討議に出された意見の発表を経て、各委員が最終評価をし、第15回検討委員会においてその評価結果を発表し、「コスモホールの西側」が最高得点になったことを確認すると共に、この結果に対する議論を重ねました。

そして平成28年3月、第16回検討委員会において、評価結果と地域の受け止め等を議論し、更に「コスモホールの西側」を選定する理由等を検討しました。最終的には「コスモホールの西側」を建設候補地とすることを賛否の投票を行い、賛成26、反対4により検討委員会として臼田地区新小学校の建設候補地を選定しました。

2 4箇所の建設候補地の特徴

住民説明会やパブリックコメント等を基に検討委員会で議論する中で、それぞれの建設候補地のメリット、課題となる点等が数多く出されました。別表のとおり整理しました。(表1・表2)

こうした点を踏まえ、全委員が候補地の評価を行いました。

3 4箇所の候補地の評価

表1・表2のとおり4箇所の候補地は、それぞれ優れた点を持っており、また、課題となる点においても、建設することは不可能と判断される課題がなく、話し合いだけでは候補地を1箇所に絞り込むのは非常に困難であるため、候補地の評価を実施することになりました。

評価の方法は、検討委員により4箇所の候補地を5つの観点毎にそれぞれ◎、○、△で評価し、◎を3点、○を2点、△を1点と点数化しました。

また、住民の皆さんの意見を評価に取り入れるため、平成27年11月に実施した住民説明会等では、5つの観点で重要度の高い観点から順位を付けるアンケートによる調査を実施しました。その結果を集計(表3)し、1位の「安全性」の評価の点数には1.5、以降「環境」に1.4、「通学」に1.3、「まちづくり・地域づくり」に1.2、「経済性・工事の円滑性」に1.1の重要度係数を乗じて、評価点を算出しました。(表4)

4 検討委員会としての方針

検討委員会では、住民説明会における意見をはじめ、選出母体の意向、さらには検討委員会で議論を重ねてきた候補地それぞれのメリット、課題など様々な情報を踏まえて委員が評価し、別表4のとおり結果が導き出されました。評価合計点が最も高かったのは「コスモホールの西側」ですが、この候補地の評価結果の大きな特徴としては、①地域住民が重要と考えている「安全性」、「環境」の評価が最も高いこと、②△の評価が最も少ないことが挙げられます。

また、表1のメリットのほか、この場所が

- ①児童が広いスペースで学習できる環境であること
- ②施設の配置が自由にできること
- ③自然的な状況を考慮した場合に不安要素が少ないこと
- ④幹線道路沿いに立地し、児童の送迎等に利便性が高いこと
- ⑤日照、騒音の心配がなく、工事をする環境も良いこと
- ⑥近くに広い駐車場等を備えた公共施設があるなど、住民が集まりやすい場所であること
- ⑦小学校が周辺から見通せる場所にあり、白田地区のランドマークとなれること

など優れた場所であると考えます。

以上のことから、検討委員会では総合的に判断して、白田地区新小学校の建設候補地は「コスモホールの西側」を選定しました。

なお、通学路については、多くの児童が遠距離通学になることや、国道141号線を横断する児童が多いと考えられることから、交通安全施設等の整備には、関係機関と連携し十分な配慮を望みます。